

みなみかぜだより

2016年
1月号

謹賀新年
本年も宜しく
お願い申し上げます



施設長退任挨拶

「皆勤賞」

桑波田 景一郎

この一年老健みなみかぜ臨時施設長として、平成二十六年十一月より昨年十二月三十一日までの十四カ月皆勤賞を戴けるよう勤められましたのは皆様の御蔭であると深く感謝申し上げます。遅まきながら老化とはどんな事なのか、精神的・肉体的な苦痛等現実目の当りにして自分なりの覚悟はしていたものの驚きを通り越して恐怖をおぼえるほどでした。より一層自分の終活が穏やかであるように願って、計画を立てたいと思っています。

老化を避ける事は人間誰しもできない、されはこの片道人生をいかにして有意義に過ごして多少人様の御役に立つことができ、「よか人生じゃったなーありがとー」と周りの兄弟親戚、見守られながらおさらば出来れば最高の終活と言えよう。

今後老健は今までと異なり、厳しい経営環境に晒されるであろう、少子社会とあって介護すべき高齢者の増加に対し介護人の絶対数不足が今後益々増えるであろう認知症高齢者の介護力をいかに確保できるかが大きな問題になるであろう。今ですら国外の介護力に依存せねば、その絶対数ですら年々減少しつつある介護力不足に拍車がかかることを若い人々に実感してもらいたいものである。

大隅の人は優しい、みなみかぜ入所者の穏やかな表情が介護者の暖かい心の裏返しと考えられる。皆さんいつどんな施設として変わろうと何時までも優しい心を持ち続けて介護にあたって下さるよう、お願いすると同時に、みなみかぜが近代的な施設として更に発展する事を祈っています。

クリスマス会

昨年十二月二十一日(月)に当施設にてクリスマス会を開催致しました。入所・通所のご利用者様にはとんがり帽子を被って頂き、クリスマス会の雰囲気を楽しむながらキャンドル隊の登場で会が始まりました。

最初に通所の利用者様にピアノの伴奏をして頂き「きよしこの夜」を全員で合唱しました。次に職員扮するサンタクロースとトナカイがキラキラのソリに乗り登場すると皆様拍手で迎えて下さり、クリスマスプレゼントとしてひざ掛けを贈呈されると大変喜ばれていました。クリスマス会で皆様が楽しみにしている出し物では、当施設職員も一員である「洋妙会」の方々が日本舞踊を披露して下さい、鮮やかなそして迫力のある舞に皆様見入っておられました。その後、利用者様や職員を交えてカラオケ大会を行い、クリスマス会は閉会となりました。限られた時間ではありましたが、賑やかなクリスマス会となり、楽しい時間を過ごして頂けたと思います。



介護教室

十二月二十一日に「マイナンバー」についてと題して介護教室を開催しました。今回から始まるマイナンバー制度。私たちも初めての事で何を話して良いのか戸惑いましたが、マイナンバーとは何か、マイナンバーで私たちの環境がどう変わるのかを簡単にご説明させて頂きました。資料集め等大変な作業でしたが、事務所の方に協力を頂き、皆様に分かりやすくまとめられたのではないかと思います。

これからは、マイナンバーによって個人の情報管理され、個人の確認が出来るようになります。一見、便利なマイナンバー制度ですが、その便利さの反面、他人に知られてしまった際のリスクも抱えています。介護教室に参加されたご家族の方からも「マイナンバーが他人に知られる危険性はないのか?」と言った事について心配されました。始まったばかりで先の見えないマイナンバー。より良い社会の為上手に付き合っていきたいものです。

